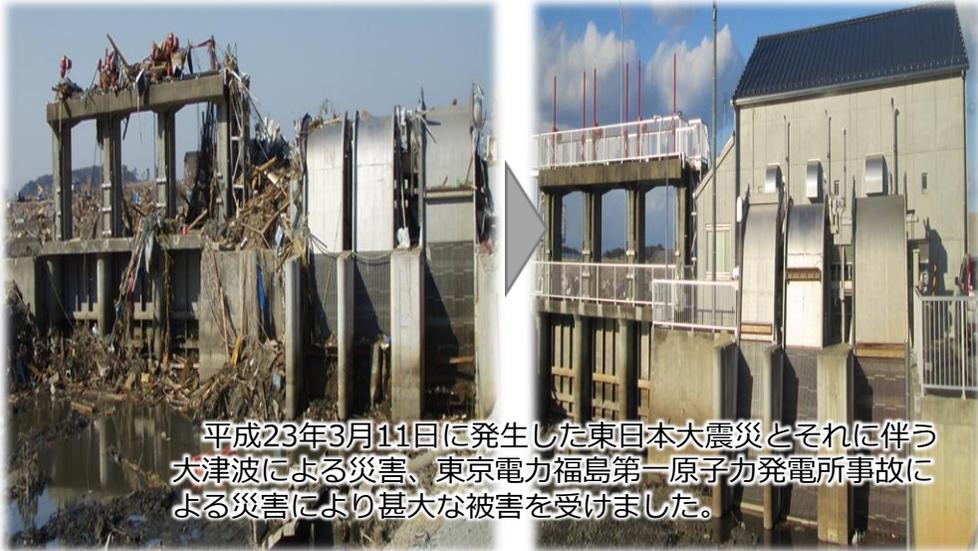


# 福島県相双地方・農林業の現状と取組

令和5年9月28日  
相双農林事務所

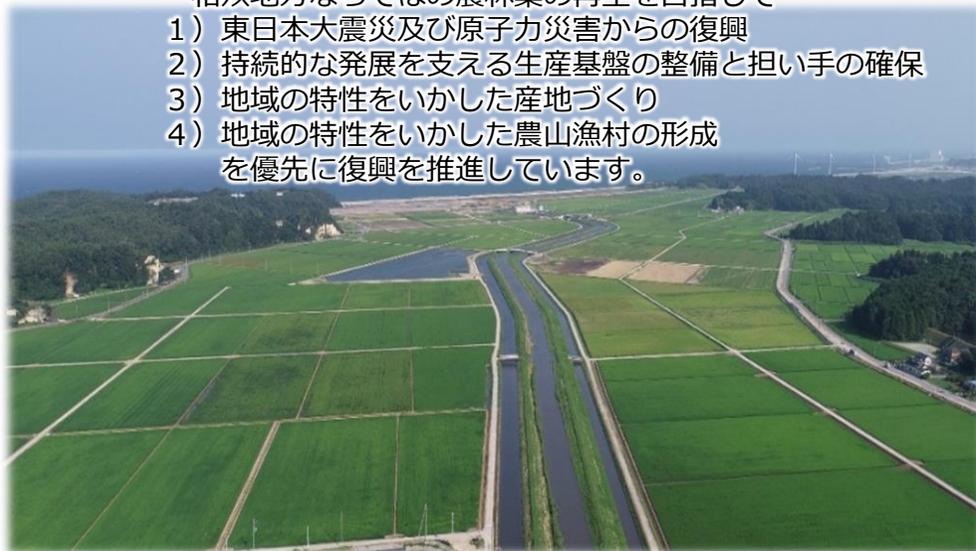


平成23年3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う大津波による災害、東京電力福島第一原子力発電所事故による災害により甚大な被害を受けました。



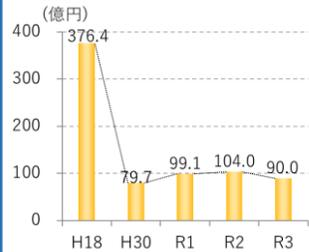
相双地方ならではの農林業の再生を目指して

- 1) 東日本大震災及び原子力災害からの復興
- 2) 持続的な発展を支える生産基盤の整備と担い手の確保
- 3) 地域の特性をいかした産地づくり
- 4) 地域の特性をいかした農山漁村の形成を優先に復興を推進しています。

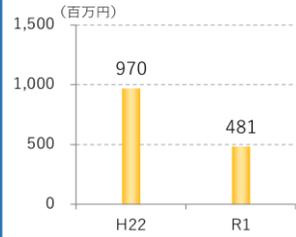


# 相双地方の農林業の概況

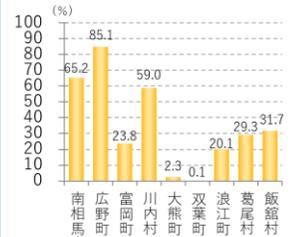
## 1 農業産出額



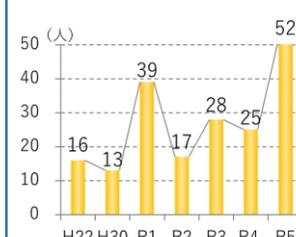
## 2 林業生産額



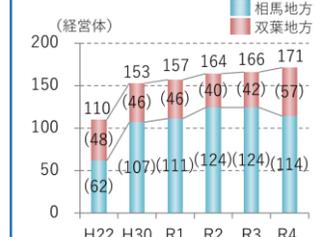
## 3 営農再開面積率



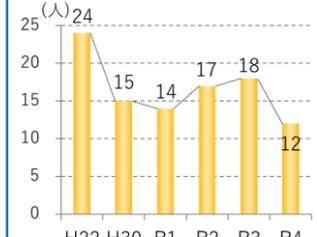
## 4 新規就農者数



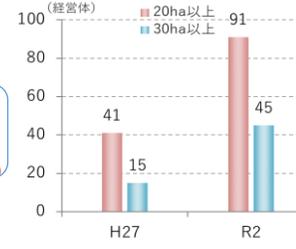
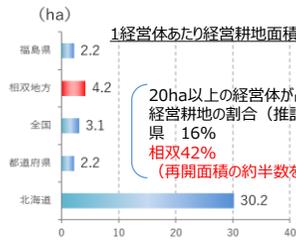
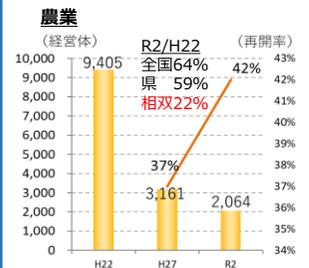
## 5 農業法人数



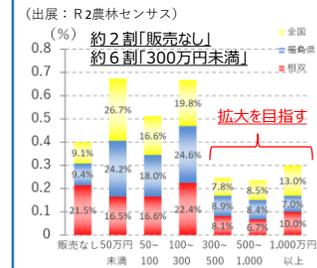
## 6 新規林業就業者数



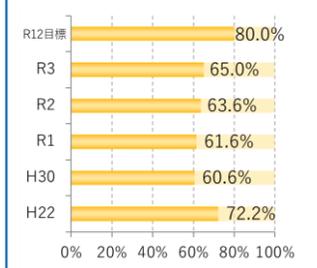
## 7 相双地方の農林業経営体における規模等



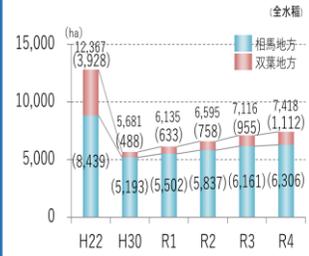
## 8 農家所得額



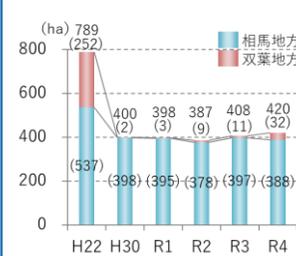
## 9 ほ場整備率



## 10 水稲作付面積



## 11 大豆作付面積



## 12 主な野菜・果樹の作付面積



## 13 花きの作付面積



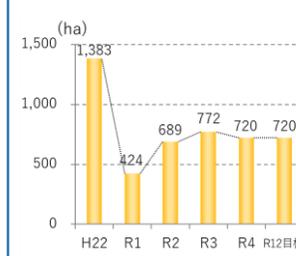
## 14 畜産 (牛の飼養頭数)



## 15 森林整備面積



## 16 主要林産物出荷量



## 17 木材素材生産量



# 福島県相双農林事務所 「相双地方ならではの農林水産業の再生を目指して～復興推進～」



## 農林水産業振興計画の基本目標

「儲かる」「誇れる」共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村

農業産出額(県目標)  
2,400億円  
林業産出額(県目標)  
152億円

## 相双重点活動によるR4年度目標

- ① 営農再開率48%
- ② 新規就農者数35人以上/年
- ③ ほ場整備率68%
- ④ 森林整備面積558ha/年  
※④はR3目標

農業産出額(相双)  
H22:376億円  
R3 : 90 億円  
林業生産額(相双)  
H22: 9.7 億円  
R1 : 4.8 億円

### 振興方向

#### I 東日本大震災及び原子力災害からの復興

- ① 避難指示解除や特定復興再生拠点区域等の整備の進捗に応じた農地・農林業施設の復旧
- ② 地域営農再開ビジョンの策定、地域の状況に応じた営農体制の構築、農林業の再開拡大を目指す方の施設整備の支援
- ③ 沿岸部の農地等を守る海岸防災林整備や、きのこ原木林再生に向け調査を踏まえた広葉樹林の更新などによる素材生産の拡大等を支援

#### IV 地域の特性をいかした農山漁村の形成

- ① 放射性物質対策と一体的に行う森林整備や、素材の生産拡大対策を推進
- ② 農業用ため池等の防災・減災対策や治山施設の整備による国土強靱化
- ③ 農林業・農山漁村の活性化を図るため、関係機関と連携した地域ぐるみによる鳥獣被害対策や、多面的機能支払制度等を活用した集落機能回復を推進
- ④ 食育活動による農山漁村への理解醸成、地域産業6次化の推進による販路の開拓の支援

#### II 持続的な発展を支える生産基盤の整備と担い手確保

- ① 担い手の営農条件を改善するため、ほ場整備による農地の大区画化及び農業用施設の整備等を推進
- ② 農用地利用改善団体の設立や人・農地プランの策定とその実現に向け、市町村等の取組を支援し、県内外からの多様な担い手の確保・育成と、農地の集積を推進
- ③ 市町村等と連携し、農林業の新規就業者等の定着や経営の体質強化に向けた取組と将来の就業につなげるための体験学習等を推進
- ④ 効率的な森林整備及び素材の生産拡大に必要な林業就業者の確保・育成を図るとともに、高性能林業機械の導入や林道等の路網整備を促進

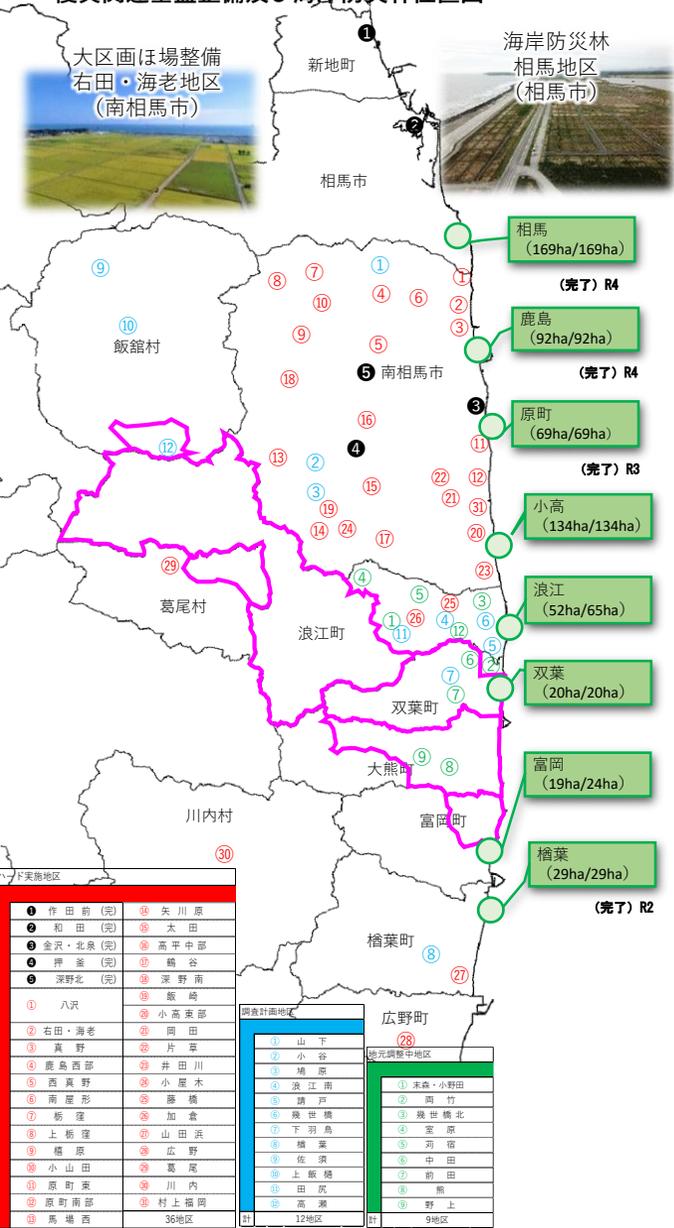
#### III 地域の特性をいかした産地づくり

- ① 経営体に応じたスマート農林業や省力化技術の導入、経営規模拡大に対応する生産体系の導入、GAPの認証取得の推進等により収益性の高い農林業の実現
- ② 既存産地の復興と新たな産地形成、さらには、販売先を踏まえ市町村域を超えた広域的な生産・出荷体制の構築など、特色ある産地づくりを推進
- ③ 除染後農地の土づくりを進める中、大規模畜産施設整備に伴い地域資源を活用した耕畜連携を推進
- ④ 集成材等の製品製造拠点整備や木質バイオマス資源を利用する施設整備への支援を通し、地元産はもとより、県産材の利用や木材の需要拡大を推進

# 相双地方の農林業の再生

## I 東日本大震災及び原子力災害からの復興

### 復興関連基盤整備及び海岸防災林位置図 (R5.3現在)



### (1) 津波被災地の営農再開

津波被害からの農業再生に向け、新たな農業の展開を実現する農地の大区画化、用排水路、農道等を一体的に整備(対象地区数13地区)  
**営農再開可能面積 85% 1,450ha/1,704ha (R5.3末)**

### (2) 農地・農業用施設の復旧

農地・用排水路・ため池等の復旧率 **96%** (箇所数ベース・R5.3末)  
 内訳:完了838箇所、工事中19箇所、未着手20箇所

### (3) 治山・林道施設の復旧

治山施設・林地(山腹崩壊等)及び林道施設の復旧率**100%**(R4.3末)で完了(43箇所)

### (4) 海岸防災林の整備

沿岸部の農地等を守るため、これまでの飛砂、風害潮害防備などの災害防止機能に加え、津波対策として林帯巾を200mに拡大し防災林を整備(整備地区数8地区)  
**着手地区数8地区・584ha(R5.3末)/602ha 事業費ベース進捗率 98.5%(R5.3末)**

### (5) 広葉樹林再生事業

ほだ木等原木林の再生に必要な伐採、植栽、下刈り、作業道設置を一体的に実施  
 令和5年度取組市町村:飯館村(R5~R7)、取組面積5ha(全体計画125ha)

相双管内の被害状況 (R4.9)

区分	箇所数	被害額
農業等被害	40	9億円
農地等被害	924	2,377億円
林業等被害	111	9億円
治山被害	(155ha)	116億円
合計	1,075	2,511億円



### (6) 農業者の営農再開支援

福島県営農再開支援事業(補助金ベース)  
 段階に応じ各種メニューにより着実な営農再開を支援  
**【R4実績】23.0億円 【R5計画】26.5億円 (R5.8内報)**

## 相双地方・安定経営と未来につなぐ生産基盤づくりの考え方

### 目指す姿

- 担い手** 規模拡大や周年栽培体系が進み、安定した就労先となり移住・定住促進、新規就農等が円滑に確保される。
- 品目** 労力負担軽減を図りながら土地利用型野菜・畑作物等の品質・収量が確保され、経営体の収益性が向上。加工施設等の整備が進み安定的な販路が確保されることで、生産意欲の喚起とともに**高付加価値産地を形成**。
- 条件整備** 基盤整備の計画段階から土地利用型野菜や畑作物等の導入を想定して、品目・営農形態に応じた排水対策や、スマート農業技術体系等に適応した大区画ほ場等の条件整備を実施。

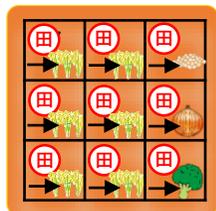
### 【現状】

(労働力) 稲作中心に大規模化⇒省力技術、作業平準化必要  
 (作物) 水稻、大豆、野菜等⇒生産量等が不安定

### 【未来へつなぐ生産基盤づくり】

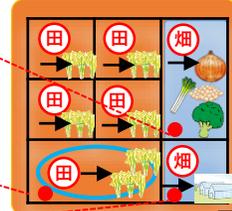
(労働力) 年間を通じ作業が均等に分散⇒周年雇用確保、軽労化  
 (作物) 水稻、大豆、野菜(大規模)、飼料⇒安定した品質・収量確保

〔ほ場の整備水準〕  
 ・表土厚(田) 15cm  
 ・標準区画 0.6~1ha  
 ・幹線道路幅 4m  
 ・排水対策は転換田としての整備水準に留まる



〔ほ場の整備水準〕  
 ・表土厚(20cm以上)  
 ・標準区画面積 (2ha以上)  
 ・幹線道路幅 (5m)  
 ・排水対策(高密度暗渠等)  
 ・管理省力化(幅広畦畔等) 等

畑作物の生産性向上・生産体系の周年化  
 団地・大区画による作業性向上等



施設園芸による生産性向上と人材育成機能の充実



# 相双地方の農林業の復興

## IV 地域の特徴をいかした農山漁村の形成

### (1) 森林の再生

ふくしま森林再生事業①事前調査(全体計画、同意取得、年度別計画)  
②森林、路網整備③放射性物質拡散防止対策(木柵等)で森林の再生  
(市町村に対しては対象森林の選定や森林施業に関する技術的な支援)

【R4実績】580ha

R4まで3,232ha(うち県営355ha)  
相馬、南相馬、新地、飯館、  
広野、檜葉、富岡、川内、浪江、葛尾

【R5計画】767ha(うち県営41ha)



丸太筋工  
(放射性物質拡散防止対策)

森林経営計画の策定支援

【現状】森林経営計画策定7件  
【R5計画】森林経営計画策定1件

●森林面積 115,830ha  
森林内訳 国有林 55,915ha  
民有林 59,915ha  
民有林内訳 天然林 29,359ha  
人工林 29,124ha  
森林経営策定面積 1,180ha  
(民有林-人工林面積対比4%)

里山再生事業の取組支援

(里山再生モデル事業(H29~R1)の後継事業)

●関係省庁連携の下、日常的に人が立ち入る里山の再生に向けた取組として、除染、森林整備線量測定を実施  
(檜葉町、富岡町、浪江町、飯館村が選定)

木材加工流通施設の整備と木材供給への支援



福島高度集材製造センター  
(略称:FLAM エフラム)

●事業主体:浪江町  
●管理運営:株式会社ワッドコアを代表幹事法人とするコンソーシアム(朝田木材産業㈱ 藤寿産業㈱等)

### (2) 治山対策

治山施設整備による国土強靱化

【R4実績】5地区(うち繰越1地区)

【R5計画】8地区(うち繰越3地区)



南川原地区(南相馬市)

### (3) 森林環境基金による適正管理や環境学習支援

森林適正管理8市町村、森林環境学習12市町村

【R4実績】

森林適正管理:

森林情報を集積し、リアルタイムで情報の共有・活用を行う森林クラウドシステムの利用

森林環境学習:

小中学校26校、幼稚園1園で木工作や自然観察会を実施

森林クラウドシステム



木工教室(南相馬市)

### (4) 農業・農村環境の維持

中山間地域等直接支払交付金

【R4実績】1,743ha・7市町村

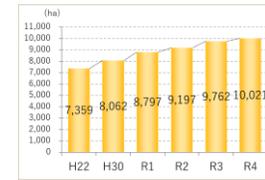
(前年より103ha増)



多面的機能支払交付金

【R4実績】10,021ha・10市町村

(前年より259ha増)



保全活動

植栽活動

### (5) 防災重点農業用ため池防災工事等の取組

農業用ため池の防災・減災対策の推進

(指定ため池:361箇所)

- ハザードマップ作成(対象:352箇所)  
【R4実績】着手済346箇所(進捗98%)
- 劣化状況調査・豪雨耐性評価(対象:340箇所)  
【R4実績】着手済288箇所(進捗85%)
- 地震耐性評価(対象:352箇所)  
【R4実績】着手済218箇所(進捗62%)
- 防災工事(対象:18箇所)  
【R4実績】0箇所 【R5計画】1箇所



ため池廃止工事



劣化状況調査

### (6) 安全・安心の取組

県産農林産物の安全・安心に対する信頼回復に向けた取組



安全な農林水産物を消費者へ

米の全量全袋検査  
【R4実績】74,756点  
野菜等のモニタリング検査  
【R4実績】854点  
県産材(製品材)の表面放射線量測定【R4実績】52検体

### (8) 地産地消の推進

相双地方産農林水産物の魅力をPR

- 農産物収穫体験等を行うバスツアーを実施  
【R4実績】2回(相馬市・新地町、檜葉町)  
【R5計画】2回(相馬地方・双葉地方)

地域の食文化理解等を図る食育の推進

- 小学生等を対象とした調理実習等の食育活動を支援  
【R4実績】13団体(23回)【R5計画】15団体(20回程度)



サツマイモ掘り体験

### (7) 風評の払拭

県産農林水産物の消費拡大の推進

- 「おいしいふくしまいただきます!キャンペーン」開催  
【R4実績】4回【R5計画】4回

- 生産団体等が実施するPR活動を支援  
【R4実績】7団体【R5計画】7団体

農家民宿における  
キャンペーンにおいて  
南相馬市産米  
プレゼント



### (9) 地域産業6次化の推進

6次化商品の販売機会の創出

- 南相馬合庁職員等を対象に6次化商品注文販売会を開催  
【R4実績】2回【R5計画】2回

地域の6次化を担う人材の育成

- 6次化に関する知識及び技術の習得や6次化に取り組む事業者間の交流を目的に「そうそう・6次化ラボ」事業を実施  
【R4実績】3事業者【R5計画】3事業者程度



6次化ラボ

6次化商品  
注文販売会